

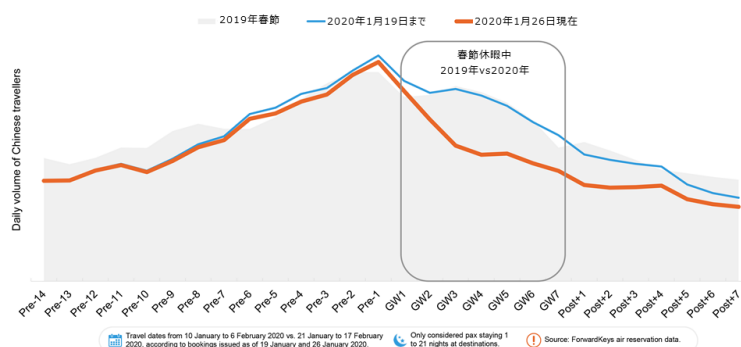
インバウンドコラム

新型コロナウイルスと春節旅行予約件数

中国政府による旅行制限の前と後

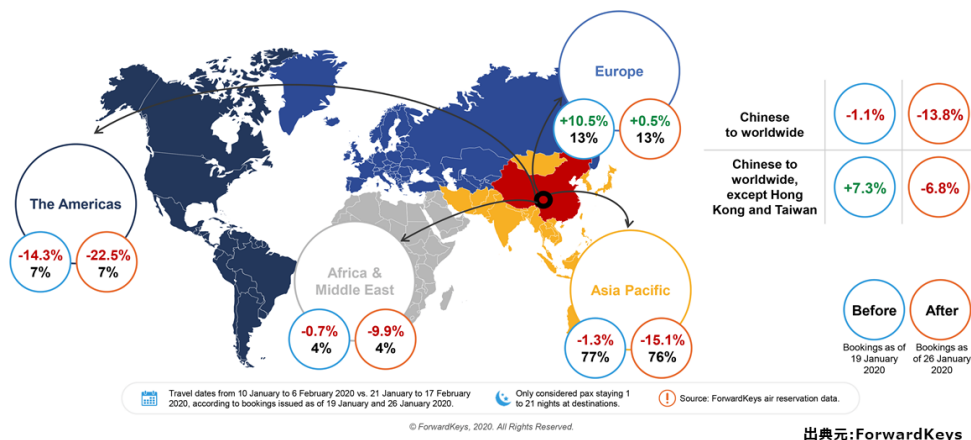
世界の航空機座席数や航空機検索を分析し、日々1700万件の航空券予約トランザクションを分析している旅行分析会社 ForwarKeys(本社スペイン)の最新データによると、2020年の春節をはさんだ2020年1月10日～2月6日期間中の航空券予約が、新型コロナウイルス流行拡大により甚大な被害を受けていることがわかりました。春節休暇は例年、春節の2日前から始まり、休暇が始まる直前に予約航空券数はピークを迎えます。当初、今年の春節旅行予約は好調で、これまでの記録をすべて塗り替える予定でした。しかし、1月20日に団体旅行が禁止になり、2020年1月26日までにキャンセル件数が劇的に増加し、記録破りとなるはずだった春節は消失しました。中国の航空券予約件数は、1月19日までは前年春節期比7.3%増でしたが、1週間後の1月26日には同期比6.8%減少しました。中国人旅行者の減少は、世界に影響を与えます。特に大きな打撃を被るのは、春節旅行者の75%が目的地としていた、アジア太平洋地域です。アジア太平洋地域への予約件数は、1月19日までは前年同期比1.3%減でしたが、1月26日に15.1%減にまで落ち込みました。旅行制限前までは、長期連休旅行先として同期比10.5%増を記録していたヨーロッパもキャンセルが相次ぎ、前年同期比わずか0.5%増という数値までさがり、もともと米中貿易戦争の影響で減っていた北米も、さらに前年同期比マイナス22.5%まで落ち込んでいます。(参照※1、グラフa、b)この数値は1月26日現在のデータのため、その後、中国国外への感染拡大もあり、実際の航空機利用数はずっと落ち込んでいると予想されます。

グラフa 春節2週間前～1週間後の中国発の航空券予約数 2019年と2020年中国旅行制限前(1月19日)後(1月26日)比較



出典元:ForwardKeys

グラフ 2020年春節期間中の中国発の航空券予約数 2020年中国旅行制限前(1月19日)後(1月26日)の前年同期比



※1 新型コロナウイルスと中国 | ForwardKeys

<https://forwardkeys.com/coronavirus-causes-collapse-in-chinese-travel/>